セミナー企画



文春サロン

セミナー



当時の紀尾井町にはバーやレストランがなかったため、サロンの中に作家やお客さまをもてなすバーも設けられた(現在、通常は閉設)。



文藝春秋本社ビルは昭和41年に竣工。カーテンウォール、角形、左右対称という設計は、超モダニズム建築の代表作といわれる。創設者の菊池寛の銅像もサロン中央に。

文藝春秋のサロンは、文藝春秋本社ビル本館1階にあります。普段は、「文藝春秋」「週刊文春」など、弊社各誌の寄稿家の先生方、あるいは取引先のみなさまとの打ち合わせに使用しているスペースです。

文藝春秋は、昭和41年、銀座8丁目からこの紀尾井町に移ってきましたが、サロンは銀座時代から文藝春秋という会社を象徴する存在でした。人気作家やジャーナリスト、写真家、画家、音楽家など、各界で活躍するみなさんがふらっと現れ、知り合いの社員をつかまえてはサロンで論壇風発、そのまま銀座へ飲みに行くというのがお決まりのコースでした。

そして、そこからさまざまな名作や名物企画が誕生しました。サロンという自由な雰囲気の中から生まれる文化、それは弊社の創設者・菊池寛が目指していたものかもしれません。出版ジャーナリズムに対して驚嘆すべき先見性を持っていた菊池寛は、折に触れて「六分の慰楽、四分の学芸」という言葉を口にしていましたが、これは菊池の編集上のモットーであり、今日に至るまで文藝春秋のモットーになっています。

文藝春秋メディア事業局では、このサロンを、学びや交流の場として開放し、読者のみなさまにもお楽しみいただく「文春サロンセミナー」をご開催することといたしました。クライアントのみなさまのご要望に沿ったセミナーやトークライヴをご提案したいと思いますので、ぜひ、ご検討いただければ幸甚です。

企画概要







＊ブース設置も可能です。テーブルのみご用意。
装飾等はおまかせ致します。

読者50名を無料招待

主催● 文藝春秋メディア事業局
場所● 本館1階サロン（千代田区紀尾井町3-23）
日時● 平日夜 or 土曜日実施　応相談
［セミナー展開］
開催挨拶→著名人or専門家講演→クライアント講演→プレゼント抽選会 計2時間程度

来場者の声

他によくある
味気ない雰囲気の
セミナーホールに比べ
はるかに心地いい空間で、
ゆったりとお話を伺えました。

落ち着いた雰囲気で、
こんなにリラックスした
セミナーだとは思いませんでした。
1週間仕事をしたあとで
ゆっくりとお話が聞けて
良い時間を過ごすことができました。

歴史が感じられる
とても良い雰囲気です。

先日、芥川賞直木賞受賞者も
ココに来たのだ！　と
菊池寛の銅像に見とれました。

ご案内

西館地下ホールでは50名以上の
セミナー開催も可能です

主催● 文藝春秋メディア事業局
場所● 西館地下1階ホール
人数● ～150名可能 ※人数は内容により変動します
日時● 応相談（日曜日以外）
※詳細はお問い合わせください。

誌面展開・料金

［誌面展開］

告知　活版1P



受付　WEB受付



事後報告　カラー2P



［料金］ ※出演する著名人・専門家への謝礼別途

●一誌で展開の場合
「月刊文藝春秋」or「週刊文春」

650万円

●両誌で展開の場合

980万円

＊誌面展開、セミナー費用含む（応募受付・当選者への連絡・会場費・運営費）

お問い合わせ
株式会社文藝春秋　メディア事業局　メディア事業1部
電話　03－3288－6166
FAX　03－3239－5481
MAIL　ad.bungeishunju-g@bunshun.co.jp

＊ご案内先は事前にご相談下さい。
（リスクの高い商品や、健康食品等はお受けできない可能性があります。ご了承ください。）